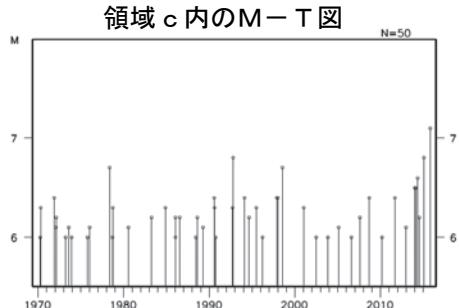
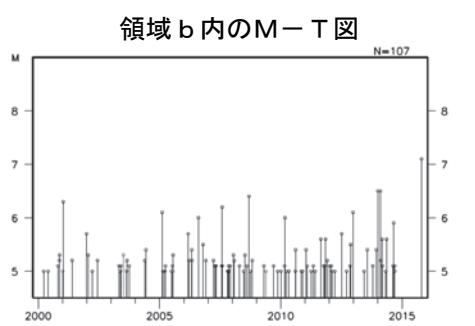
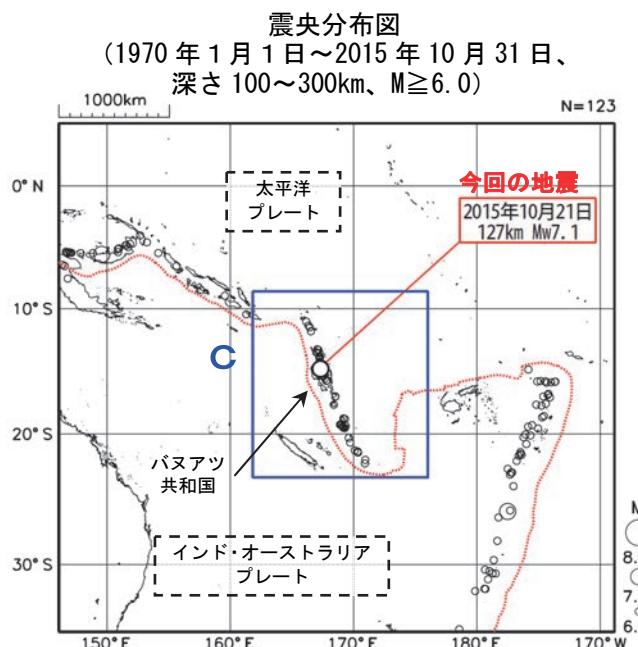
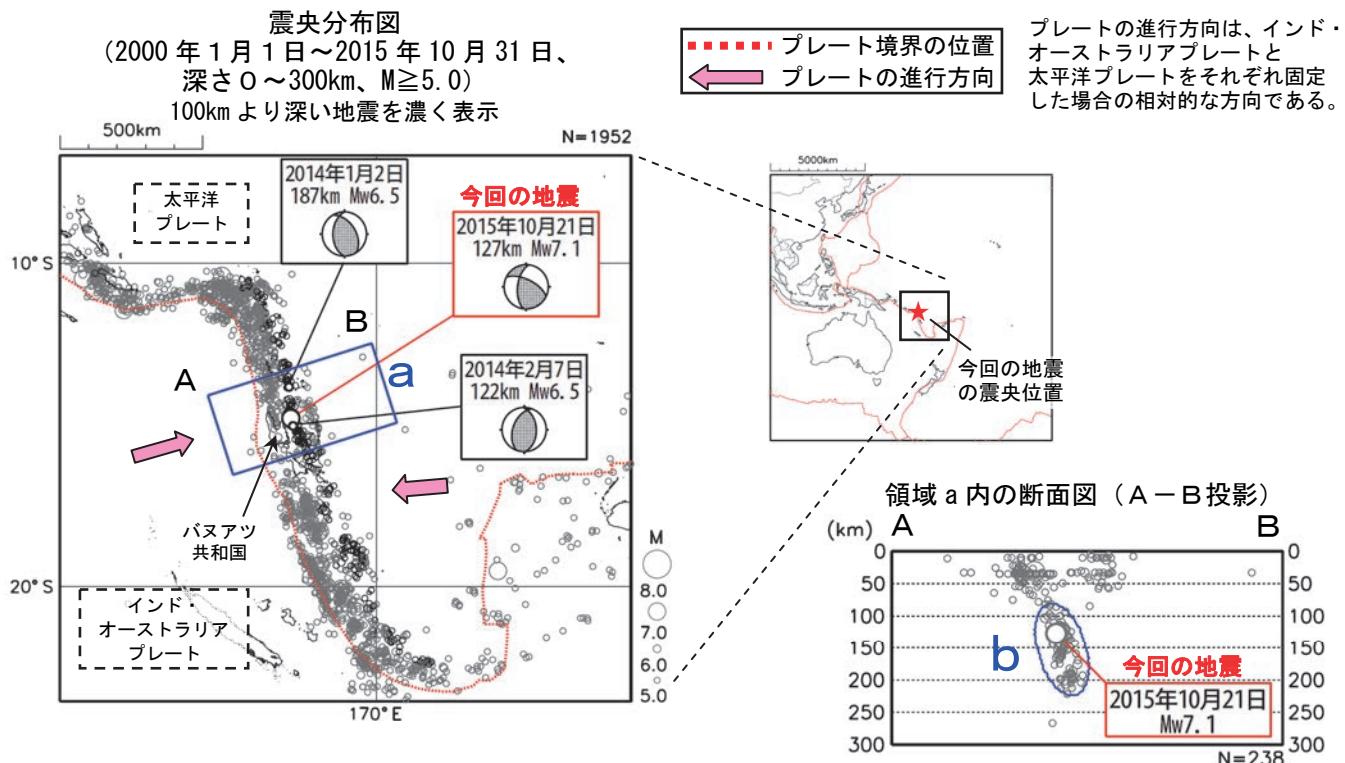


10月21日 バヌアツ諸島の地震

2015年10月21日06時52分（日本時間）に、バヌアツ諸島の深さ127kmでMw7.1の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が東北東－西南西に圧力軸を持つ型である。この地震の震央周辺は、インド・オーストラリアプレートが太平洋プレートの下に高角度で沈み込んでいるところで、今回の地震は、沈み込むインド・オーストラリアプレート内部で発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺（領域c）では、M7.0を超える地震は発生していなかった。

なお、気象庁は、この地震について、同日07時15分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。



本資料中、2014年1月2日、2014年2月7日の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。他の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2015年11月2日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003)*より引用。
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.